



令和7年度 第2回 始良市地域自立支援協議会

日 時 令和8年2月13日（金）午後1時30分～

場 所 始良市役所本館1階 多目的ホール

（あいらスクエア）

1 開会

2 議事

(1) 各専門部会から

- ・ 相談支援部会
- ・ 子ども部会
- ・ 就労支援部会
- ・ 精神・地域・暮らし（精神保健福祉）部会

(2) 第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画策定に係るアンケート調査（案）等について

3 その他

4 閉会

【資料】

- 1 第3回運営会議会議録
- 2 各専門部会活動報告書
- 3 第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画策定に係るアンケート調査（案）【別冊】

議事

- ・各専門部会から

- ・第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画策定に係るアンケート調査(案)等について

- ・その他

	区分	委員構成	団 体	役 職	氏 名	備 考
1	1号 委員	障害者関係団体 の代表者	始良市身体障害者 協議会	会長	永野 正武	R7.8.5～
2			始良市手をつなぐ 育成会	副会長	長尾 文磨	
3	2号 委員	民生委員、児童 委員の代表者	始良市民生委員・児童委員 協議会連合会	理事	今別府 成美	
4	3号 委員	地域自治組織の 代表者	始良市校区コミュニティ 協議会連絡会	会長	野口 治将	
5	4号 委員	障害者福祉サー ビス事業所の代 表者	地域生活支援事業所 アシスト	施設長	樋之口 亮	会長
6			ウイングプランセンター (相談支援部会 部会長)	管理者	遠矢 昭子	
7			障害者支援施設 喜びの里	施設長	豊満 和正	
8			サン・ヴィレッジ始良	施設長	山之内 浩子	
9	5号 委員	関係行政機関の 職員	鹿児島県始良・伊佐 地域振興局 地域保健福祉課	課 長	末吉 智子	R7.8.5～
10			始良市社会福祉協議会	会 長	久保 良昭	R7.8.5～
11	6号 委員	学識経験を有す る者	鹿児島国際大学	名誉教授	蓑毛 良助	
12	7号 委員	保健、医療機関 の関係者	鹿児島県立始良病院 地域医療連携室 (精神・地域・くらし部会 部 会長)	副地域連 携室長	狩元 美奈子	
13	8号 委員	教育、雇用及び 就労に関する機 関の関係者	県立加治木特別支援学校	校 長	奥村 さゆり	
14			始良市教育委員会 学校教育課	教育部次 長兼課長	松尾 明	R7.8.5～
15			障害福祉サービス事業所 セルプあいら (就労支援部会 部会長)	施設長	羽月 賢治	
16	9号 委員	障害者及び障害 児の発達及び療 育に関する機関 の関係者	障害者支援施設 さちかぜ	管理者	小門口 幸二	
17			児童発達支援センター 虹の家 (子ども部会 部会長)	施設長	田原 勝徳	R7.8.5～
18	10号 委員	その他市長が必 要と認める者	始良市保育協議会	副会長	福富 智章	R7.8.5～

令和 7 年度 第 3 回運営会議 記録	
開催日時	令和 8 年 1 月 28 日 (水) 10:00~11:15 2号館相談室 10
参加者	樋之口会長、遠矢部会長、羽月部会長、田原部会長、狩元部会長 (事務局) 中村センター長、田代係長、上原、山崎
2 開会挨拶	(樋之口会長) <ul style="list-style-type: none"> 部会報告を共有し、運営会議で協議した上で、全体会で取り上げる地域課題の抽出をできればと考えている。
3 協議	<p>各部会開催状況・今年度の活動報告 (全体会での活動報告準備含む)</p> <p>【各部会長から部会報告】</p> <p>(羽月就労支援部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度や報酬改定についての情報共有 (就労選択支援、B 型) 「びいすまいるマルシェ」の開催が難航している (販売ができないため)。 精神・地域・くらし部会との連携が必要 <p>(遠矢相談支援部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材確保への取組→「始良市ヘルパー協議会」 主任相談支援専門員を主体とする地域課題の検討 <p>(田原子ども部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月の豪雨災害 (医療的ケア児等への対応) →地域課題として検討が必要 <p>(狩元部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部会との連携やくらしの中心となる「グループホーム」、「就労」との連携が必要 部会員構成の検討 <p>(樋之口会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労については、制度や報酬改定などの理解が必要。部会で共有できることはいい。 主任相談支援専門員の試みが部会で承認を得られたらグループ会議と位置づける予定 地域課題である福祉の人材不足について、ヘルパー事業所やグループホームの事業所の横のつながりができたことはいい取組。 災害への対応については課題が多い (避難訓練、個別避難計画、デジタル化、物資のリスト化など)。今すぐできることに対しては取り組むことができるのではないか。 精神・地域・くらし部会は負担が大きくなりそう。構成員やグループ会議、開催方法の検討が必要。 運営会議の会議録は全体会の資料として提示する。部会報告は、この会議で残った課題を挙げていく。

4 その他	<p><u>アンケート（案）について</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 前回のアンケートと同様の内容とはなるが、障害福祉サービスに焦点をあてた内容となる。全体会開催日までには資料として提示する予定。 <p><u>災害の対応について</u></p> <p>（田代 障害者福祉係長）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 危機管理課に情報共有して、訓練などはすぐにでも対応できると考える。部会報告の意見について、危機管理課と協議した上で精査できればと思う。
5 閉会	

相談支援部会 活動報告

令和8年2月13日

令和7年度第2回始良市地域自立支援協議会

1 部会開催状況（R7年度第1回始良市地域自立支援協議会（8/5）以降）

	開催日	時間	協議事項
1	令和7年 9月10日（水）	15:00 ~ 17:00	第2回相談支援部会 ・「就労選択支援について」 ・「高校3年生から就労までの流れ」
2	令和7年 12月3日（水）	15:00 ~ 17:00	第3回相談支援部会 ・GSV ・8月の豪雨災害時における対応等について ・イベント時の相談コーナーについて
3	令和8年 2月4日（水）	15:00 ~ 17:00	第4回相談支援部会 ・R7年度の振り返り・来年度やりたいこと ・主任バンク(案)について ・イベント時の相談コーナーについて

2 部会から見てきた始良市の課題

(1) 福祉人材確保への取組

福祉人材不足について部会でできることについて取り組んできた。

令和7年6月より「始良市ヘルパー協議会」として発足し、現在は年3回の会議を行い事業所が抱える課題の共有と検討、情報交換や共有を行っている。

他サービスも横のつながりが必要と、令和7年11月に「日中サービス支援型共同生活援助グループ会議」が発足し第1回の話し合いが行われ、今後は年1回程度の開催予定である。

(2) 地域課題の検討

令和7年4月より始良市に籍を置く8人の主任相談支援専門員が集まり地域の課題に対し何ができるかを非公式に検討してきた。

令和7年8月に相談支援部会員に対し学びたいことのアンケートを実施した。

各相談支援専門員の困りごと、学びたいこと等の課題は個別具体的なものが多く、画一的な研修で補完されるものではない。また相談支援専門員の質の向上や継続的な研鑽は必須である。

そこで主任バンク(仮称)を立ち上げ、各事業所相談支援専門員の抱える課題に、同行訪問やライブスーパービジョンを行い実践的なサポートができることを目指す。

子ども部会 活動報告

令和8年2月13日

令和7年度第2回始良市地域自立支援協議会

1 部会開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	令和7年 5月21日(水)	10:00～ 11:30	○ 今年度の活動計画について ○ 今年度の研修会テーマについて
2	令和7年 7月16日(水)	10:00～ 11:30	○ 福祉と教育の連携について ○ 5歳児健診について
3	令和7年 9月17日(水)	10:00～ 11:30	○ 不登校状態にある療育利用者に対する対応と状況把握・今後の取組について
4	令和7年 11月19日(水)	10:00～ 11:30	○ 医療的ケア児等のいる家庭への災害時の対応と地域課題 ○ 新1年生の円滑な就学移行に向けた小学校と療育機関等の連携について

2 部会から見えてきた始良市の課題

(1) 医療的ケア児等のいる家庭への災害時の対応と地域課題

令和7年11月の子ども部会において、令和7年8月の豪雨災害を受けて、「子ども部会員」及び「医療的ケア児等コーディネーター」より状況報告がありました。

そこで、意見や報告を自立支援協議会でも共有できたらと思います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 日常的に家庭でストックできる医療機器が限られている。長期になると物資が不足する。 ② 衛生材料を洗浄する水が不足する。(給水車の水は医療用具洗浄使用には不安) ③ 様々な災害を想定した避難計画や避難訓練の実施が必要である。(個別避難計画の周知及び普及と活用) ④ 医療的ケア児等の詳細な情報の共有が必要である。(「始すくファイル」を紙媒体からデジタル化への検討) ⑤ 医療や保健等の関係機関の役割及び関係機関の備蓄品等の把握が必要である。 ⑥ 災害時の情報統括機関・災害派遣医療チームとの連携方法等の確認が必要である。 ⑦ 医療的ケア児受け入れ施設が被災した場合、医療機関以外の対応可能な施設が少ない。 ⑧ 医療的ケア児等に対する避難指示を再確認する必要がある。
(大雨や台風等予測がつく避難情報を基にした避難(高齢者等避難指示:警戒レベル3)
(地震等予測が困難な場合や地域全体が被害を被る場合等の想定) など |
|---|

* 災害時の対応としては、まず家庭でできることは何かを確認・準備した上で、災害状況(程度)に応じて、訪問看護ステーションや医療的ケア児等コーディネーター、相談支援事業所・通所支援事業所等並びに自治会(地域)や公的機関等でできることを地域全体で共有することが必要と考えられます。

(2) 新一年生の円滑な就学移行に向けた小学校と療育機関等との連携について

療育機関と小学校等は、年度末に連絡会議を開き、子どもの様子を伝えていますが、教職員の人事異動があり正確に情報が伝わっていないことがあります。そのため、年度末に限らず、随時、療育と教育双方で連絡を取り合いながら、時期を検討していく必要があります。小学校から中学校への引継ぎについては「移行支援シート」を活用し、小・中の連絡会を確実に実施することが望まれます。

3 今後の予定

- ・第5回 子ども部会 令和8年3月11日(水) 10:00～
今年度の活動のまとめ及び次年度に向けて

就労支援部会 活動報告

令和8年2月13日

令和7年度第2回始良市地域自立支援協議会

1 部会開催状況（R7年度第1回始良市地域自立支援協議会（8/5）以降）

	開催日	時間	協議事項
1	令和7年 10月28日（火）	15:30～ 16:40	◇事例発表（3事業所） <ul style="list-style-type: none"> ・ゆいの里 「B型からA型に移行後、作業意欲が低下したNさんの事例」 ・サンテリア愛ら 「自己肯定感の低い利用者へのアプローチ 1年間の取り組みと就労アセスメント（BWAP2）を使用したの再考察」 ・KANON 事業所 「在宅就労実施状況」 ◇その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループについて ・「びいすまいるマルシェ」について ・就労選択支援について ・最低賃金引き上げに伴う、A型事業所について

（ワーキンググループ）：毎月第3水曜日に開催予定

開催日	内容
	・期間中の開催実績なし

（研修会）

開催日	内容
12月11日	・令和7年度自立支援協議会合同研修会 テーマ 「統合失調症（その理解と援助）」

（イベント）

開催日	内容
中止	・障がい者就労支援普及イベント「びいすまいるマルシェ2025」の開催

2 部会から見てきた始良市の課題

- (1) 障害の多様化に対応する支援の在り方
- (2) 工賃向上に向けての取組
- (3) 一般就労移行に向けた各事業所の取組
- (4) 就労選択支援事業への対応
- (5) 事業所運営への対応

3 今後の予定

- (1) 部会（2月24日）
- (2) ワーキンググループ（毎月第3水曜日）

精神・地域・くらし部会 活動報告

令和8年2月13日

令和7年度第2回始良市地域自立支援協議会

1 部会開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	令和7年 5月28日(水)	15:00 ~ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度活動報告 ・ 令和7年度活動計画 ・ 各機関から現状や課題意見交換 ・ 精神保健福祉部会の改組について
2	令和7年 9月24日(水)	15:00 ~ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表① ・ 事例発表② ・ 研修会の計画
3	令和7年 12月11日(木)	14:00 ~ 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3専門部会合同研修会 講話：「統合失調症（その理解と援助）」 講師：始良病院 新井 薫 医師

2 部会から見えてきた始良市の課題

- ・ 引き続き、地域共生社会の実現に向けた「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に関する普及啓発を行うこと、地域移行を推進する上で他専門部会との連携を図ることが必要。
- ・ 身寄りのない方への支援や引きこもりの方への支援、受診拒否の方への支援、困難事例の相談を受けても具体的な対応について検討する場が少なく支援者の負担が大きい。

3 今後の予定

- ・ 部会のメンバー構成の見直しをしながら、様々な事業所が参加しやすく、各機関が抱えている課題や困難事例を検討できる場として精神・地域・くらし部会を活用できるよう部会活動の周知を図る。